

以なり。思ふに軍人なるものは明治十五年軍人に賜ひし勅諭にも見ゆるが如く、自ら陛下の股肱を以つて任ずるの覺悟なかる可からず。故に一旦入營の曉は常に國家を護り皇威を發揚せん事を心掛け、誠心誠意不惜生命の奉公ある可きなり。特に勅諭の五ヶ條は軍人生活の生命をなすものなれば、能く之を服膺して、決して違反の行爲ある可からず。五ヶ條とは他なし即ち忠節、禮義、武勇、信義、質素、是なり。入營後直に上官より教を受る事なれば今更の贅辨を要せずと雖。古語に『三歳の童子も之を知る、而も八十歳の老翁終に行ふ能はず』の憾みなからしめんのみ。歐洲にては一ト度徵兵に出たる者にあらざれば、世人の信用を得る事能はずと。之一ト度軍隊に入りたる者は其舉止動作を始め、氣風思想悉く高尚確實の人と爲り之を軍隊前に比すれば殆ど別人の如き觀あればなり、外國に於てすら斯くの如し。況や我帝國軍人は世界無比の皇室を戴き世界無二の國家を保護する任務あるに於てをや宜しく忠良確實の人となり以つて、大元帥陛下の股肱の一人たるに愧づる事なからんことを期すべきなり好漢幸に健在なれ。

## 我が國旗 辻 能學

何れの國に於ても、國旗はよく其國の歴史・性質等を説明するに足るものあり。見よ、十字架は英國の國旗にして青白紅の三色なるは佛國、幾條の横線に數個の星を添へたるは米國、露國は鷲、支那は黃龍、暹羅は象、波斯は獅子、土耳其埃及は月の缺けたるを描けり。されども此等は皆遂に我國旗の光明ある、又圓滿なる表象に比す可からず。即ち龍は髯こそいかめしけれ又象、獅子は體こそ大にして猛なれども皆是れ獸類にして已に其國の天下に事を成さざるを示せるなり。然るに見よ、我日章旗の、その白地なるは潔白を表し中央の赤色なるは赤心を示し、その圓形なるは君臣相和の相を表すること。これ即ち我國の精華にして過去に於ては三千年來の名譽ある歴史を語ると共に、又未來に於ては四海統一の大業を成就すべき事を表すものと云ふ可きなり。

## 雪中の竹 望月 宗康

朝から手足の痺れるほど寒い日であつた。空は薄墨